

デジタルシフト管理

チーム名：市川ゼミ II (A)

永田 朔 早川 健斗
吉田 和矢 杉山 稜

開発経緯

<バイト>

- シフトの書き忘れがある
- 自由な時間にシフトを書けない

<チーフ>

- 部署従業員の稼働管理が大変
- 紙やインクの無駄遣い
- 全体に稼働を伝えるためには写真を撮らなければならない

開発内容

- シフト提出において紙に書きに行く手間を省くため、**オンライン上で提出**ができる仕組みを開発。
- データ上で管理ができ、**SDGsに貢献**している。

開発手順

- Googleフォームに質問項目を作成し、それを元にkintoneでデータが送られる場所の作成。
- Apps ScriptにGoogleフォームとkintone、Googleカレンダーとkintoneを紐づけるプログラムを記述。

システム構成図



システム利用法

1. Googleフォームでシフト希望時間の送信
2. kintoneに来た希望を管理者が時間を設定し承認
3. Googleカレンダーに確定した時間が反映される
4. 再度kintoneに戻りカレンダー登録記録を確認

データ操作

1回目の実証実験結果

<良かった点>

- カレンダーとkintoneの連携がうまくいった
- カレンダーに反映された内容は社員全員が見れるようになった
- 印刷の手間が省けた（紙の無駄遣いがなくなった）

<課題点>

- 管理者が各一人ごと一日ずつ承認しなければならない
- Googleカレンダーの色が反映されない
- シフト回答が複数セクション
ではなく一つのセクションになってほしい
- シフト内容変更後のメール送信

導入メリット

<バイト>

- 職場にいなくてもシフトを送れる
- シフト送信の操作简单
- 当日の人数が分かることでバイトに行く前に仕事量の把握ができる

<チーフ>

- kintoneの操作简单
- 事前の仕事の割り振りが容易になる
- Googleカレンダーにより稼働を伝える手間が省けた

今後の展望

- 人を追加しても **プログラム** をいじらないようにする
- シフト決定メールを送れるようにする